

事業所名

気仙沼市マザーズホーム「児童発達支援」

支援プログラム

作成日

6年

8月

16日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉関係者、保健、医療、教育など関係機関の参加、協力のもと、住み慣れたまちで安心して生活できることを目指します。 ・基本的な生活習慣を身に付け、丈夫な体を作ります。 ・個人の意思を尊重し、自己肯定感を育む支援、自己理解の支援、保護者（家族）支援に取り組みます。 							
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することが出来るよう支援します。 ・生活能力向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることが出来るよう支援します。 ・教育・医療・福祉などの関係機関と連携し適切なサービスを提供します。 ・人権の擁護、虐待防止等のため、必要な体制整備を行い、従業員に対して研修を実施します。 							
営業時間	・通常	9時	0分から	14時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や社会生活を営めるよう、それぞれの子どもが持つ機能をさらに発達させながら、子どもに適した身体的、精神的、社会的支援を行います。 ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活習慣を身に付け、健康で安全な生活を送れるよう支援します。 ・生活の中で、様々な遊びを通して健康な体を作ることを支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して体のバランスを整え、姿勢保持や日常動作に必要な動きを覚えるよう支援します。 ・感覚の過敏さ・鈍麻さに配慮しながら、感覚統合理論から活動や遊びを提供します。 ・粗大運動・微細運動を提供し、日常生活に必要な能力を養います。 ・感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整の支援を行います。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の認知の特性を理解し、「分かること」「出来ること」が増えるよう支援を行います。 ・正しい行動を褒め、適切な行動が身に付くよう支援します。 ・子どもの「強み」を知り、強みを生かし、認知や行動の手がかりを見極め、認知機能の発達を促します。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防及び適切行動への対応支援を行います。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通して、指さし、絵カード、手振りなどを通し意思の伝達ができるよう支援します。 ・絵カードを用いながら、具体的な事、物や体験と言葉の意味を結びつけられるよう支援します。 ・場面や、状況に応じて適切なコミュニケーションが取れるよう支援します。 ・障害特性に応じた、読み書き能力の向上の為の支援を行います。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に対する安心感・人に対する信頼感を育む支援を行います。 ・家族や支援者に褒められることで挑戦する力・頑張る力を養います。 ・玩具の貸し借りなど遊びのルールを覚え、友達と遊ぶ楽しさを経験できる環境を提供します。 ・家族や支援者を介在して気持ちや情動の調整が出来るよう支援します。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・プログラムの実施 ・ペアレントメンターによる支援 ・レスパイト支援・延長支援の実施 ・保護者会や行事などを通して家族や兄弟支援の実施 ・家族からの相談、助言や具体的支援方法などのアドバイスの実施 ・保護者研修会の実施 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との情報共有を図り支援内容の確認や進路選択のアドバイスなど子どもの生活状況の様子に合わせた適切な支援 ・家族の気持ち（期待や不安など）の傾聴・アドバイスの実施 ・地域における仲間作りの支援 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが通う保育所や幼稚園との関係者会議の開催 ・保健師や相談専門員・心理士・医療など関係機関との連携 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修会への参加、職員会議での研修内容の伝達・報告書の作成 ・アセスメントシートを活用した子どもの状態把握 ・事例検討会の開催（スーパーバイズの活用） ・宮城県子ども総合センターや各専門職との連携協力の取り組み 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・4月…始まりの会・お花見園外保育 5月（6月）…遠足 7月…夏祭り 8月（9月）…夏休み特別企画 10月…リンゴ狩り 11月…運動会 12月…クリスマス会 ・2月…餅つき・豆まき会 3月…保育終わりの式 その他：家庭訪問 <p>*毎日の療育の中で個人の発達に合わせた自立課題を実施</p>							